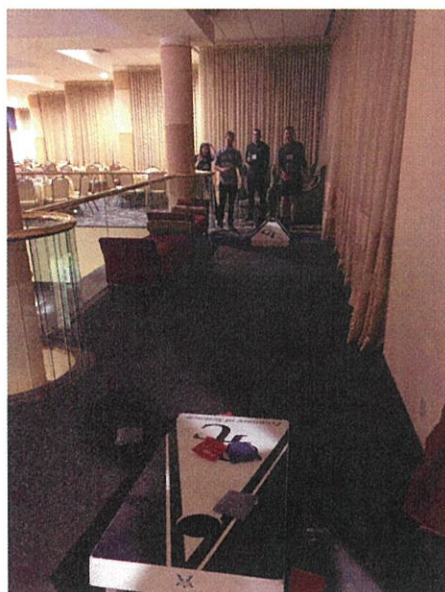


ゴードン会議とテキサス訪問

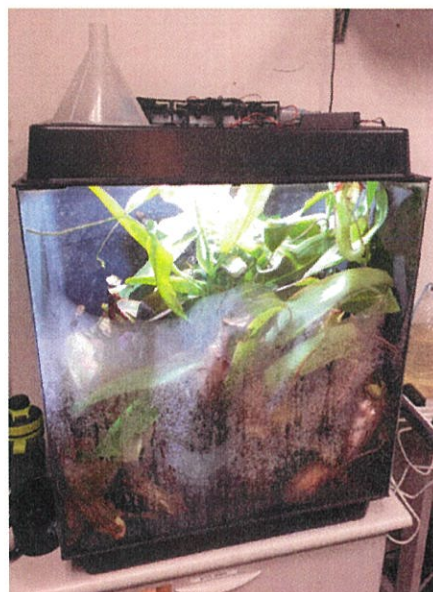
化学専攻 博士課程2年 石田 啓

今回の海外派遣では2/10-2/23の二週間弱、最初の7日間はカリフォルニア州ベンチュラで開催されたゴードン会議に、後半の1週間はテキサス大学オースティン校の Ellington 研にお邪魔した。現在、私は膜タンパク質を標的としたペプチドスクリーニング法の確立と、新規触媒 RNA の開発を行なっている。前者のテーマでゴードン会議ではポスター発表を行い、後者のテーマについて Ellington 研で共同研究の話し合いなどを行なった。ゴードン会議は歴史のある非常にクローズな会議であり、泊まり込みで行われることが特徴である。実際、私は NYU からきたポスドクと相部屋で宿泊し、会議に参加するだけでは得られないような密なコミュニケーションを取ることができたと思う。

会議後、テキサスへと移動して Ellington 研を訪問した。比較的大人数のラボであったが、ほぼ全員とそれぞれの研究テーマについて話すことができとても有意義だった。また、この研究室で開発された進化工学の手法を自分の新規 RNA 触媒の開発のテーマに応用できないかについても議論もでき、さらには教授の紹介で大学内の他の先生方ともディスカッションの機会が得られたため、非常に満足いく訪問ができたと思っている。この場を借りて、研究訪問を受け入れてくれた Ellington 教授と研究室のメンバーにお礼申し上げます。



Gordon 会議中に Cornhole で遊ぶ参加者



Ellington 研内で栽培されていたウツボカズラ